学校番号	410

令和３年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	生物(啓林館)						
副教材等	センサー総合生物(啓林館)						

1　担当者からのメッセージ（ 学習方法等 ）

それぞれの学習項目において，生徒が身近に感じられる話題との関連を重視する。特にヒトの体や環境問題に関する話題には，常に自身の問題として関心が持てるように留意する。また，体験に基づく生きた知識が得られるように，できる限り多くの実験・実習を取り入れる。

講義においては，生徒が疑問を持った時点でいつでも発問・応答ができるような雰囲気になるよう留意する。実験・実習の際には，とにかく実際に体験してみて，そのときに得られる「自分自身の体験」を大切にする。家庭学習では，インターネット上の生物学的話題などと、学校での学習事項とを関連付けて理解するよう指導する。

2　学習到達目標

「生物としての人間」をテーマに，ヒトの病気，ウイルス，環境のことなど，一般に報道される生物学関連の情報に対して正しい理解と判断ができる学力の獲得を目指す

3　学習評価（ 評価規準 と 評価方法 ）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち,意欲的に探究しようとするとともに,生物学的な事物･現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど,科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象に関する事物･現象の中に問題を見出し､探究する過程を通して､事象を科学的に考察し導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに､それらの過程や結果を的確に記録､整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に着けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理･法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発問	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発問 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発問 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発問 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生命現象と物質	生命と物質	○				a：生物体内の科学的メカニズム、生殖、発生に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b：生物体内の科学的メカニズム、生殖、発生を考察し、導き出した考えを表現している。 c：生物体内の科学的メカニズム、生殖、発生に関する探究活動を行い、その方法を習得するとともに、これらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d：生物体内の科学的メカニズム、生殖、発生について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		代謝	○					
		遺伝現象と物質		○				
	生殖と発生	有性生殖				○		
		動物の生殖と発生			○			
		植物の生殖と発生	○					
2学期	生物の環境応答	動物の反応と行動	○				a：生物の環境応答、進化、系統に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b：生物の環境応答、進化、系統を考察し、導き出した考えを表現している。 c：生物の環境応答、進化、系統に関す探究活動を行い、その方法を習得するとともに、これらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d：生物の環境応答、進化、系統について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		植物の環境応答				○		
	生物の進化と系統	生物の進化			○			
		進化とその仕組み				○		
		生物の系統				○		
3学期	生態と環境	生物の生活と環境	○				a：生物の生態と環境に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b：生物の生態と環境を考察し、導き出した考えを表現している。 c：生物の生態と環境に関する探究活動を行い、その方法を習得するとともに、これらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d：生物の生態と環境について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		個体群と生物群集		○				
		生態系			○			

※表中の観点 a～d は前頁の「3　学習評価（ 評価規準 と 評価方法 ）」と対応している。

※原則として一つの単元(題材)ですべての観点ついて評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。